

定禅寺通再整備に係る ケヤキの根系等調査について

令和5年11月24日

建設局百年の杜推進部公園管理課

1. 目的

- ・ 定禅寺通のケヤキ並木は、植栽後60年以上が経過し、杜の都を代表する街路樹として、「保存樹林」にも指定されている。
- ・ 定禅寺通は、令和5年3月に策定された「定禅寺通再整備方針」に基づき、ケヤキ並木の保全という観点も踏まえた再整備を予定している。
- ・ 本調査は、ケヤキの生育環境に配慮した再整備の設計や今後の工事を進めるため、「一般社団法人みやぎ樹木医会」の協力を得ながら、試掘調査を行い、ケヤキの根の分布状況等を確認するもの。

2.再整備の概要

- 別添「資料4-2」を参照。
- 「定禅寺通再整備方針」においては・・・
 - ・ ケヤキは現位置に保存。根の分布状況等の調査を行い、ケヤキの生育環境に配慮した整備を行う。
 - ・ ケヤキ並木の美観の確保や、歩行者等の安全確保に必要な剪定等の維持管理に配慮した整備を行う。
 - ・ ケヤキの根上り予防、健全な生育環境確保のための歩道拡幅部の土壌改良及び浸透柵等の整備を行う。
 - ・ ケヤキの踏圧防止を図るため、ツリーサークルのリニューアル、中央緑道の植栽帯への立入防止対策を行う。

3. 調査概要

(1) 調査期間：令和5年7月12日～12月上旬

(2) 調査項目

①予備調査 ②根系調査 ③土壌調査

(3) 調査内容

①予備調査（調査済）

調査場所：ケヤキ全数（166本）

調査内容：外観調査

②根系調査（調査中）

調査箇所：

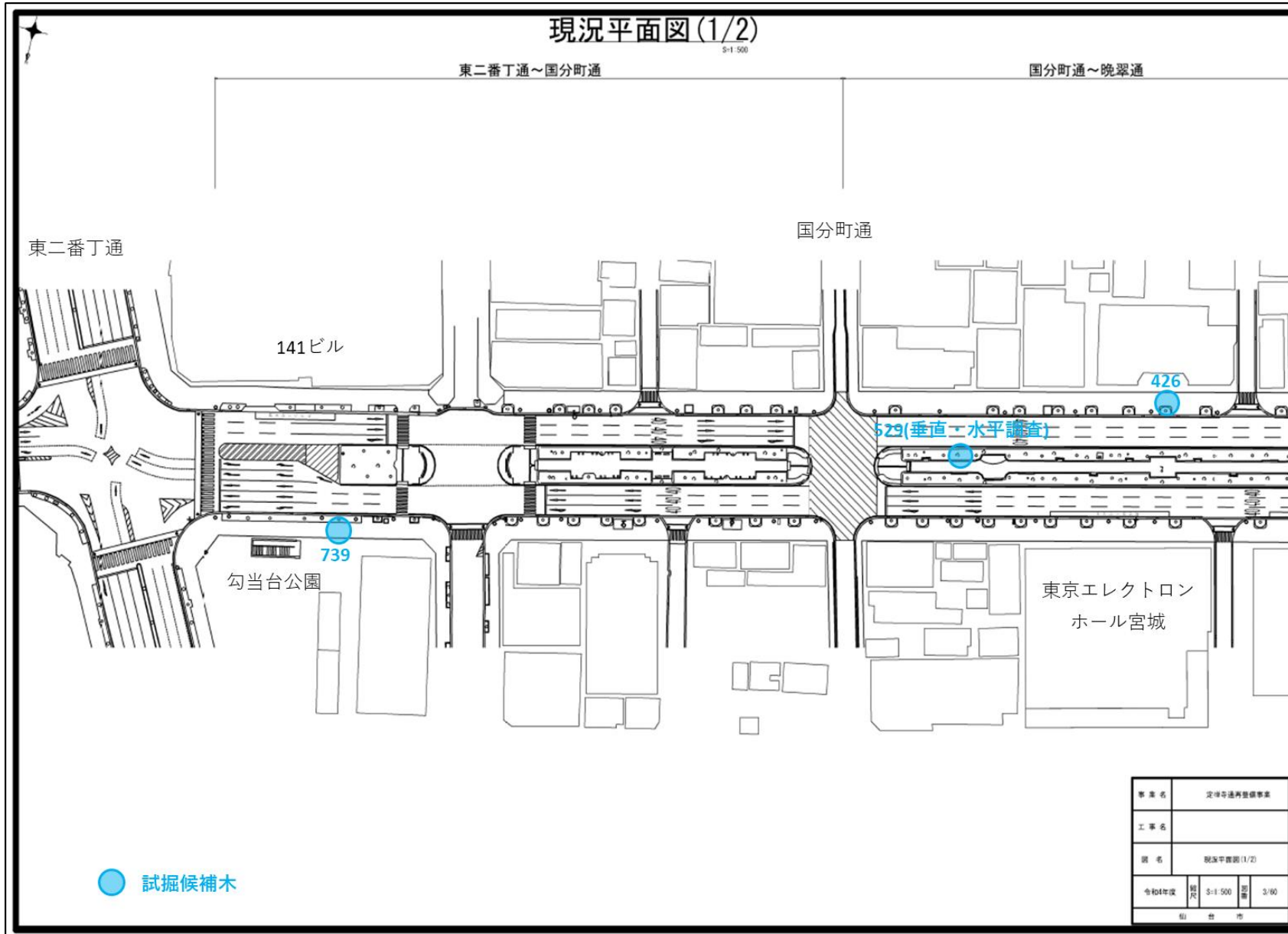
I． 垂直調査：歩道4箇所、緑地4箇所

予備調査を踏まえ、路線全体のバランスや再整備による改変が大きな箇所などを考慮し選定

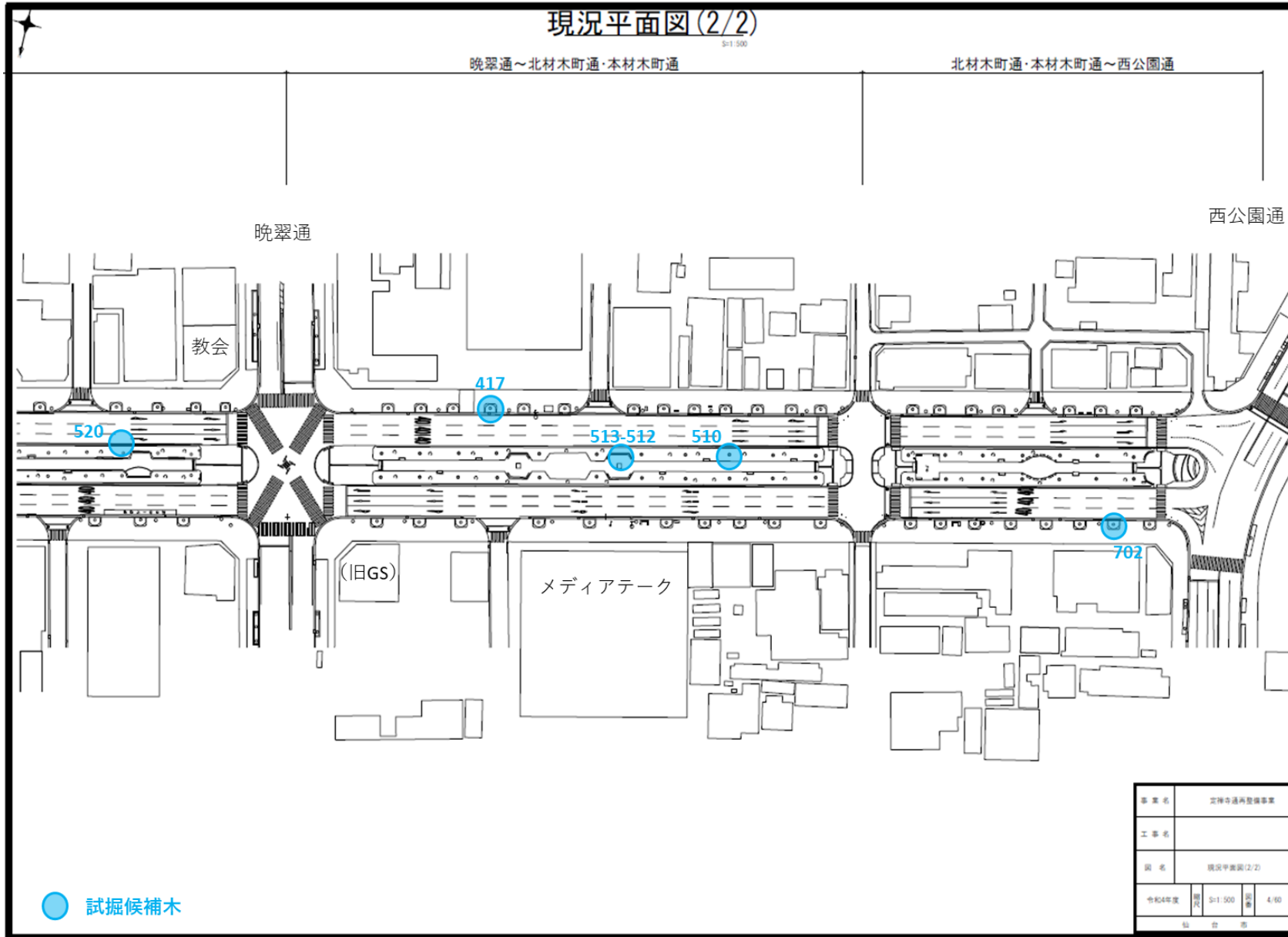
II． 水平調査：上記 I から緑地 1 箇所を選定

再整備において、広場の拡幅及び新たにステージの設置を予定している箇所を選定

■ 調査箇所位置図



■ 調査箇所位置図



②根系調査（調査中）

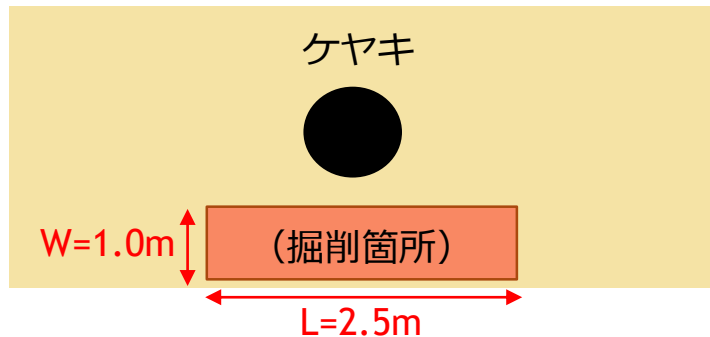
調査内容：

I. 垂直調査

ケヤキの周囲 1～2 断面を掘削し、
根系の分布状況を調査

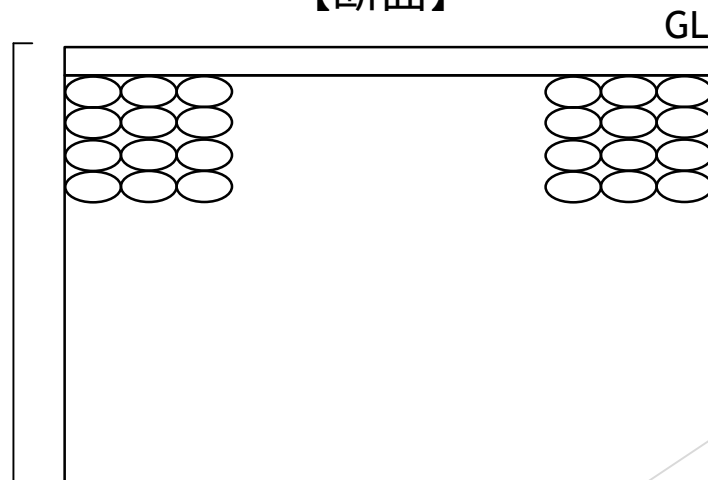
■ 調査における掘削イメージ

【平面】



【断面】

(掘削深)
 $H=1.4\text{m}$



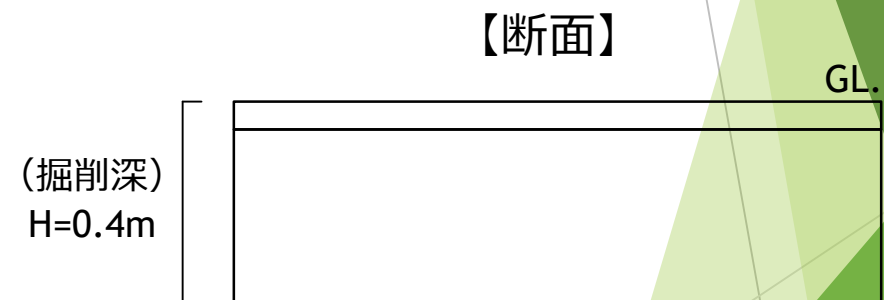
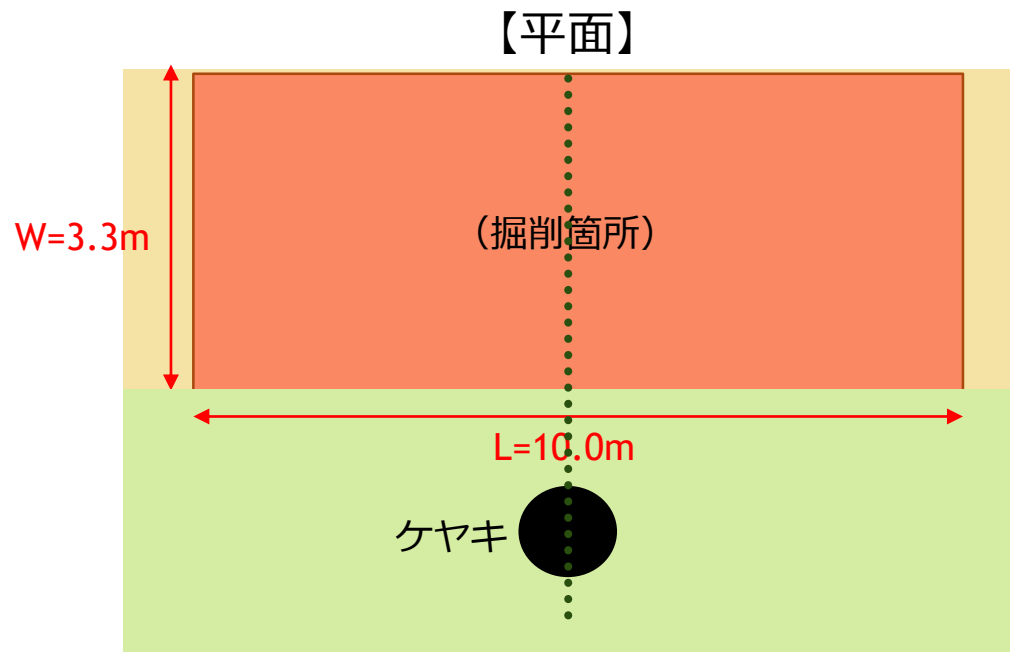
②根系調査（調査中）

調査内容：

Ⅱ．水平調査

ケヤキを中心として、10m×3.3m、深さ0.4mを掘削し、根の広がり状況を調査

■調査における掘削イメージ



③ 土壌調査（調査中）

調査箇所：根系調査と同様の箇所において実施。

調査内容：土壌の化学性（pH、電気伝導度、全炭素、全窒素、有効態リン酸、置換性塩基）、物理性（土性、硬さ、粒径組成、透水性）を調査。



4. 今後の再整備のスケジュール（予定）

令和5年度：ケヤキ調査、設計

令和6～9年度：再整備工事

